社会福祉法人福島更生義肢製作所　平成２９年度事業報告書

法人本部

施設運営について

1. 施設運営を行うにあたり、施設の職員である前に社会の一員であることに一人一人が気付くよう注意を払いました。
2. 人との出会いを大切にすることを徹底させました。
3. 障がいを持たれた方の視線で接し、共感しながら業務を行うよう指導しました。
4. 自分や施設の将来をイメージし、自らを成長させるよう促しました。
5. 成長を促し自学への意識付けを行うよう、キャリアパス制度の運用を開始しました。

事業の展開について

歳入については当初予算２５８，０７６，０００円に対し９７．６５パーセントの２５２，０２６，９５５円であり歳入目標を達成することができませんでした。

歳出につきましては事業費では予算に対し９９．３８パーセントの９６，３９８，８６９円と質を落とさずに事業費を抑制することができました。

人件費につきましては、前年度とほぼ同額であり、対予算で９８．７８パーセントの１１６，５６１，５５０円の実績となりました。

固定資産につきましては車両２台の購入と１台の寄贈を受け、車輌３台の取得となりました。

積立資産につきましては、大規模修繕費用として９，９００，０００円を取り崩し、３月の補正で新たに２，５００，０００円を積み増したところです。

そういたしまして当期資金収支差額はマイナス４，９２６，９６９円と対予算でマイナス額が１，４８３，９６９円増の結果となりました。

この結果は事業活動収入が予算通り見込めなかったことに原因があり、今後はより一層気を引き締め事業活動を行っていきたいと考えるところです。

社会福祉法改正について

1. 生計困難者相談支援事業実施規程を整備しました。
2. 社会福祉充実残額を作成し公表しました。

役員会等の開催について

* + 平成２８年度決算監査会
		- 日　時：平成２９年４月２４日　１０：：００開会
		- 場　所：本所・福島製作所　２Ｆ　大会議室
		- 議　題：平成２８年度事業概要並びに決算状況審査

平成２８年度会計審査

* + - 出席者：監事２名出席
	+ 平成２９年度第１回理事会
		- 日　時：平成２９年５月６日　１４：００開会
		- 場　所：本所・福島製作所　２Ｆ　大会議室
		- 議　題：
			* 報告第１号　屋根及び壁改修工事の件
			* 報告第２号　パソコン購入の件
			* 報告第３号　車輌購入の件
			* 議案第１号　平成２８年度事業報告の件
			* 議案第２号　平成２８年度決算認定の件
			* 議案第３号　役員等の報酬及び費用弁償に関する規程改正の件
			* 議案第４号　賃金規程改正の件
			* 議案第５号　苦情解決委員会第三者委員推薦の件
			* 議案第６号　理事推薦の件
			* 議案第７号　監事推薦の件
		- 出席者：理事６名、監事１名出席
	+ 平成２９年度第１回評議員会
		- 日　時：平成２９年５月２８日　１６：００開会
		- 場　所：サンパレス福島
		- 議　題：
			* 報告第　１号　屋根及び壁改修工事入札の件
			* 報告第　２号　パソコン購入の件
			* 報告第　３号　車輌購入の件
			* 報告第　４号　評議員選任の件
			* 議案第　１号　平成２８年度事業報告の件
			* 議案第　２号　平成２８年度決算認定の件
			* 議案第　３号　役員等の報酬及び費用弁償に関する規程改正の件
			* 議案第　４号　賃金規程改正の件
			* 議案第　５号　苦情解決委員会第三者委員選任の件
			* 議案第　６号　苦情解決委員会第三者委員選任の件
			* 議案第　７号　理事選任の件
			* 議案第　８号　理事選任の件
			* 議案第　９号　理事選任の件
			* 議案第１０号　理事選任の件
			* 議案第１１号　理事選任の件
			* 議案第１２号　理事選任の件
			* 議案第１３号　理事選任の件
			* 議案第１４号　監事選任の件
			* 議案第１５号　監事選任の件
		- 出席者：評議員８名、監事１名出席
	+ 平成２９年度第２回理事会
		- 日　時：平成２９年５月２８日　１７：１５開会
		- 場　所：サンパレス福島
		- 議　題：
			* 議案第１号　理事長選任の件
			* 議案第２号　常務理事選任の件
			* 議案第３号　理事兼総務部長選任の件
		- 出席者：理事７名、監事１名出席
	+ 平成２９年度第３回理事会
		- 日　時：平成２９年９月３０日　１４：００開会
		- 場　所：本所・福島製作所　２Ｆ　大会議室
		- 議　題：
			* 報告第１号　平成２９年９月度月次試算の報告について
			* 報告第２号　本所１Ｆ倉庫増設工事及びトイレ改修工事について
			* 議案第１号　平成２９年度第１次補正予算（案）について
			* 議案第２号　生計困難者に対する相談支援事業実施規程（案）について
			* 議案第３号　第２回評議員会開催について
			* 議案第４号　再雇用に関する規程改正（案）について
			* 議案第５号　再雇用職員の勤務条件に関する規則改正（案）について
		- 出席者：理事６名、監事１名出席
	+ 平成２９年度第２回評議員会
		- 日　時：平成２９年１０月２９日　１４：００開会
		- 場　所：本所・福島製作所　２Ｆ　大会議室
		- 議　題：
			* 報告第１号　平成２９年９月度職務の執行状況報告
			* 報告第２号　本所１Ｆ倉庫増設工事及びトイレ改修工事について
			* 議案第１号　平成２９年度第１次補正予算（案）について
			* 議案第２号　生計困難者に対する相談支援事業実施規程（案）について
			* 議案第３号　再雇用に関する規程改正（案）について
			* 議案第４号　再雇用職員の勤務条件に関する規則改正（案）について
		- 出席者：評議員６名、監事１名出席
	+ 平成２９年度第４回理事会
		- 日　時：平成３０年３月１０日　１４：００開会
		- 場　所：本所・福島製作所　２Ｆ　大会議室
		- 議　題：
			* 報告第１号　業務執行理事の業務の執行状況報告の件
			* 報告第２号　出張所・会津製作所工業用電動ミシン購入の件
			* 議案第１号　平成２９年度第２次補正予算案の件
			* 議案第２号　平成３０年度事業計画案の件
			* 議案第３号　第４号　第５号　平成３０年度当初予算案の件
			* 議案第６号　福島更生義肢製作所就業規則改正の件
			* 議案第７号　平成３０年度有価証券等の保有限度額の件
		- 出席者：理事７名出席　監事１名出席
	+ 平成２９年度第３回評議員会
		- 日　時：平成３０年３月１８日　１４：００開会
		- 場　所：本所・福島製作所　２Ｆ　大会議室
		- 議　題：
			* 報告第１号　業務執行理事の業務の執行状況報告の件
			* 報告第２号　出張所・会津製作所工業用電動ミシン購入の件
			* 議案第１号　平成２９年度第２次補正予算案の件
			* 議案第２号　平成３０年度事業計画案の件
			* 議案第３号　第４号　第５号　平成３０年度当初予算案の件
			* 議案第６号　福島更生義肢製作所就業規則改正の件
			* 議案第７号　平成３０年度有価証券等の保有限度額の件
		- 出席者：評議員９名出席　監事１名出席

地域貢献活動について

* + 第５５回福島県障がい者総合体育大会
		- 日　時：平成２９年５月２１日　７：３０～
		- 場　所：あいづ陸上競技場
		- 主催者：福島県文化スポーツ局
		- 実施内容

福島県が主催する障がい者の体育大会で補装具を使用している方々の修理やメンテナンスをボランティアで行いました。

* + - 参加者：義肢装具士白岩開人、シーティングエンジニア杉内英俊
	+ 平成２９年度社会福祉実習生見学受け入れ
		- 日　時：平成２９年８月２３日　１４：００～
		- 場　所：出張所・会津製作所
		- 主催者：会津若松市
		- 実施内容：

会津若松市役所に入職を希望している学生さんの社会福祉実習の受け入れ先のひとつとなり、将来会津地域の福祉を担うであろう学生の皆様に対し、障害や補装具についての学習の機会を提供しました。

* + - 参加者：義肢装具士今野祥文、義肢装具士小林友幸
	+ ファミリーフェスタ２０１７
		- 日　時：平成２９年１１月５日　９：００
		- 場　所：郡山市　ビッグパレット福島
		- 主催者：

保健・福祉フェスティバル郡山２０１７実行委員会

（郡山市・社会福祉法人郡山市社会福祉協議会・その他各団体の共催事業）

* + - 実施内容：

義足や義肢の展示と補装具に関する説明を行うとともに、模擬義足や障害体験用装具の体験装着コーナーをブース出展し、多くの市民県民の方に障害の実際を学習する機会を提供しました

* + - 石原理事、義肢装具士小林、義肢装具士伊藤、義肢装具士白岩
* 障がい者施設や病院・クリニック様の依頼を受け補装具の無償修理を７７件行いました。
* 生計困難者相談支援事業
* 福島市をはじめとする行政や福島県社協をはじめとする各地区社会福祉協議会、福島市内の地域包括支援センター等を訪問し、当法人で行っている相談支援事業の周知を図りました。
* 病院様の依頼を受け、患者様の退院時の応急的処置として車いすを無償でレンタルしました。
* 棚倉町社会福祉協議会様が所有する車いすの無料メンテナンスを実施し、地域の方々が安全に車いすを使用できるよう貢献しました。

物品調達・施設改修等について

* 本所・福島製作所の屋根を改修し雨漏りを防ぐとともに、断熱効果を飛躍的に向上させました。
* 男女兼用であり、障がい者用トイレも併設されていた本所・福島製作所１Ｆのトイレを個室化するとともに、ジャバラカーテンで仕切られていた障がい者用トイレを引き戸に改め利用しやすくしました。
* １Ｆに事務用の倉庫を設置し事務室の整理整頓を図りました。
* 本所・福島製作所では事故により、出張所・会津製作所では故障により、それぞれ車輌を１台ずつ入れ替え、新規に中古自動車１台の寄付を受けました。
* 本所・福島製作所並びに出張所・会津製作所においてそれぞれ電動式工業用ミシンを１台ずつ購入しました。

研修事業について

将来の法人運営を担う若手職員に対し、技術面のみならず人格形成を促す研修への参加や、法人の運営について学ぶ機会を提供するよう気を配りました。

* 日　時：平成２９年６月２８日　木曜日　１３：３０開会
* 場　所：郡山市労働福祉会館　大ホール
* 目　的：社会福祉法改正に伴う制度改革について
* 主催者：福島県
* 出席者：石原信市郎
* 日　時：平成２９年７月２９日　土曜日　９：００開会
* 場　所：福島本所　２Ｆ大会議室
* 目　的：財務諸表の読み方講座
* 主催者：所内研修
* 講　師：小島清一（評議員・税理士）
* 出席者：職員９名
* 日　時：平成２９年８月１１日、１２日、１３日
* 場　所：人間総合科学大学　岩槻キャンパス
* 目　的：座骨収納型ソケット実技セミナー
* 主催者：一般社団法人　日本義肢装具士協会
* 出席者：宍戸佑輔
* 日　時：平成２９年８月１８日、１９日、２０日、２１日
* 場　所：横浜市総合リハビリテーションセンター
* 目　的：シーティング基礎講習
* 主催者：一般社団法人　日本車いすシーティング協会
* 出席者：星浩紀、杉内英俊
* 日　時：平成２９年８月３０日、３１日、９月１日
* 場　所：福島県総合社会福祉センター３Ｆ
* 目　的：福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダー研修
* 主催者：福島県社会福祉協議会
* 出席者：市川直之
* 日　時：平成２９年９月１６日　土曜日　９：００開会
* 場　所：福島本所　２Ｆ　大会議室
* 目　的：財務諸表の読み方講座
* 主催者：所内研修
* 講　師：小島清一（評議員・税理士）
* 出席者：職員６名
* 日　時：平成２９年１１月１６日、１７日、１８日、１９日、２０日
* 場　所：横浜市総合リハビリテーションセンター
* 目　的：シーティングエンジニア養成講習
* 主催者：一般社団法人　日本車いすシーティング協会
* 出席者：星浩紀、杉内英俊
* 日　時：平成２９年１１月１８日　土曜日　９：００開会
* 場　所：福島本所　２Ｆ　大会議室
* 目　的：財務諸表の読み方講座
* 主催者：所内研修
* 講　師：小島清一（評議員・税理士）
* 出席者：職員８名
* 日　時：平成３０年２月１７日　土曜日　９：００開会
* 場　所：福島本所　２Ｆ　大会議室
* 目　的：財務諸表の読み方講座
* 主催者：所内研修
* 講　師；小島清一（評議員・税理士）
* 出席者：職員８名
* 日　時：平成３０年３月３日　土曜日　９：００開会
* 場　所：福島本所　２Ｆ　大会議室
* 目　的：快適な座位保持装置を作るために
* 主催者：所内研修
* 講　師：星浩紀、杉内英俊（職員・シーティングエンジニア）
* 出席者：職員１３名
* 日　時：平成３０年３月３日　土曜日　１０：３０開会
* 場　所：福島本所　２Ｆ　大会議室
* 目　的：ＩＲＣソケットの手技について
* 主催者：所内研修
* 講　師：宍戸佑輔（職員・義肢装具士）
* 出席者：職員１３名
* 日　時：平成３０年３月１１日　日曜日
* 場　所：国立オリンピック記念青少年総合センター国際交流棟
* 目　的：整形疾患に対する足底装具製作適合に必要な基本技術と評価学
* 主催者：一般社団法人　日本義肢装具士協会
* 出席者：情野勝廣、太田幹

未収金対策について

* 例月の未収金確認を着実に行うとともに、病院・クリニック様と連携し患者様に対し再請求を行うなど、基本的な作業を確実に行いました。
* 総合支援法関係については、補装具費用の支給決定通知書を対象者様から確実に預かることを徹底し、ミスによる請求漏れを防ぐよう努めました。
* 対象者様から頂戴した支給決定通知書については迅速に請求に回し、受注から入金までの時間短縮を図りました。
* 損害保険関係については速やかに請求先保険会社の確認を行うよう徹底しました。
* 上記の基本的な対応策を確実に実施し、平成２９年度３月末未集金額は前年比６７．８５パーセントの４４，１７０，２６１円まで圧縮しました。

本所・福島製作所　業務部門

1. 事業活動全般について
	1. 目的や目標に対する意識の醸成
* 法人が事業を行う目的を全業務職員が常に意識しながら、患者様や医療スタッフと接するよう指導しました。
* 目的と目的を達成するための様々な目標を一人一人が自律的に設定し、業務を行うよう指導しました。
	1. ＯＪＴ（職場内研修）について

幹部職員や中堅職位に対し、若手や新人職員にＯＪＴを意識しながら指導を行うよう依頼し、一定の成果をあげました。

* 1. 事業収入の確保について

当初予算１８６，８２２，０００円の歳入目標に対し、対予算で９４．８パーセントである１７７，１３７，８０９円の歳入確保に終わり目標を達成することはできませんでした。

1. 業務部門の体制構築について
	1. 福島県内を県北、県中・県南、浜通り、会津の４つに区分し、そこに県外を加えた５つの地区割を設定し、各地区の３次、２次医療拠点病院を中心として業務活動を展開しました。
	2. ２年目の新人職員に対しては常にＯＪＴを意識しながら指導を行い、バックアップ体制を構築しながら業務を展開させました。
	3. 年度当初に休職中の職員が退職となり、若手職員を中心に嘱託職員や事務長等にも拠点病院の業務を担当してもらうなど、全職員で退職職員のフォローを実施しました。
	4. 製造と営業のバランスが取れ、それぞれのスキル向上につながるよう、病院・クリニック様への訪問ローテーションを変更しました。
2. 介護施設関係へのアプローチについて
	1. 業務全体のバランスを維持しつつ、訪問介護・訪問看護ステーションをはじめとする介護施設からの補装具製作や修理依頼に対応できるよう、業務職員の手配やタイムスケジュールの管理を行いました。
	2. 各種介護施設等へのアプローチを強化し、もともとの利用者様のみならず、各介護施設様へも当法人のカタログ配布を積極的に行い、存在感を高めるよう努めました。
3. 車いす部門について
	1. 年間売り上げ目標

当初目標２千２百万円に対し、達成率１０２．７パーセントの２千２百６十万円の売り上げを確保し、売り上げ目標を達成しました。

* 1. 営業業務について
* 当初福島県内の県北、県南・県中、相双の３地域への営業展開を計画していましたが、シェアの拡大によりいわき地区も営業地域に加えることができ、売り上げ目標の達成につながりました。
* 当法人として、義肢・装具のみならず、車いす・シーティング分野での取り扱いの知名度を上げ、補装具と日常生活用具など福祉用具全般を取り扱える業者として、施設・病院・役所・在宅のお客さへ認知度を上げる事が出来ました。
* 車いすと装具の患者様の橋渡しを行うことにより、装具の修理及び装具の新規製作へつなげることができました。
	1. 福祉活動について

いわき病院、けやきの村、青松苑・清心園に対し、電動コンプレッサー、手動エアーポンプを寄贈し、車いす利用者様の利便性向上を図りました。

本所・福島製作所　義肢・装具製造部門

1. 製造部門の体制構築について
* ゆとりをもって作業ができるよう１年を通じ指揮監督してきましたが、年度当初に若手職員１名が退職したこと及び年度途中で休職となった業務担当職員が１名出たことにより、製造部門としては年間を通じ余裕のない状態が続きました。
* 製造スキルの向上も念頭に、全業務職員が最低でも週に一度は製造に専念する曜日を作るよう、業務部長とも連携し人員配置に努めましたが、業務を優先せざるを得ず、年間を通じ製造に専念する曜日を確保できたとは言えない一年となりました。
* 新人職員・若手職員に対しては、個々の役割を考慮し、比較的に業務を中心とする職員、やや製造にも力を入れる職員とその構成にも配慮しながら人員配置を行いました。
1. 目標の設定について
* ２年目の新人職員に対してはシューホーン型短下肢装具や足底板の仕上げなどの習熟度を高めるよう指揮監督しました。
* ６年目の若手職員に対してはモデル修正や筋金付き短下肢装具、義肢等の製作にも積極的にかかわるよう指揮監督しました。
1. 素材選定について
* 義肢・装具・車いす・既製品の合計となりますが、前年度比１００．９パーセントと材料費そのものは増加しましたが、年間を通じ素材の選定には気を配り、材料の品質を落とさずに製造に取り組むことができました。
* 材料費の抑制策として、材料を丁寧に扱うことを心掛け、無駄な使用を減らすことを徹底し、一定の成果を上げる事が出来ました。
* 常に新素材を取り寄せ、より良い装具の製造につながるよう研究を継続しました。
1. 状況を把握し行動をおこす力の向上について
* 今年度は一人一人が今何をすべきか的確に判断するよう指導しました。
* 状況を確認し無駄な行動を減らすことにより、製造にかかわる時間を短縮することができました。
* 状況認識力の向上を図れたことにより個々人のスキル向上につながりました。

出張所・会津製作所

1　営業業務について

* 主要な総合病院の定期訪問を週1回から週2回に増やしたことにより、納期の短縮を実現し、医師及び患者様の信頼を得ることが出来ました。
* 限界集落ともいえる奥会津地域の公立病院等を定期訪問することにより、地域住民の安心の確保と僻地医療の充実に貢献しました。
* 総合支援法部門では、各市町村の福祉担当者及び介護施設の装具担当者との連携を強化し、売上増に結び付けることが出来ました。
* 患者さまの利益を守るため、総合支援法で受けることのできるサービスを分かりやすく説明するよう心掛け、パンフレットを作成し配布することにより新規の顧客を得ることが出来ました。

2　地域医療連携について

病院のソーシャルワーカーや地域包括支援センター等に積極的にアピールすることにより、相談もより多く頂くこと事が出来ました。

3　年間売り上げ目標

当初予算の歳入目標６８，７５０，０００円を上回る、７１，８５８，５３８円の収益を確保することが出来ました。

4　福祉活動について

会津若松市内の障害者支援施設アガッセにて4月、7月、10月、12月に車椅子と補装具の無償点検・調整を実施しました。

5　職員のスキルの向上について

* シーティングエンジニア資格を1名が取得しました。
* 材料販売店、既製品メーカー様を招き、新材料や新製品の勉強会を定期的に行い、営業業務時のアピールに役立てることが出来ました。

6　原価率の低減及び生産性の効率化について

福島本所との情報の交換により材料費の低減及び製作工程の見直しを図り、生産効率を向上させました。

7　設備投資について

工業用ミシン１台を新規に購入し、製造能力の強化をはかりました。

こしのはま居宅介護支援センター

* 利用者の心身機能、活動（生活）参加（人生）の理解につとめ、十分なアセスメントを行い、利用者と家族の意向に基づいた、生活機能を高めるプランの作成を行いました。
* 生活障がいの改善が図れたかどうかのモニタリングを確実に行い、サービス提供事業所や行政との連携、調整を図りました。
* 施設からの在宅復帰への仕組みを構築し、在宅生活を支援することができました。
* 個人情報保護法の理念に基づき、利用者情報の適正な管理を行いました。
* 介護サービス情報の公表、第三者評価事業を進め、正確な制度情報の把握につとめ、ケアマネージャーの資質向上をはかりました。
* 専門職としての業務を的確に行えるよう、各種研修会に積極的に参加しました。
* 苦情処理体制については、利用者・家族が安心してサービスを受けられるよう、不満や苦情に迅速かつ適切に対応しました。
* 介護予防支援事業にあたっては、委託により確保しました。
* 介護認定調査にあたっては、受託により確保しました。